神奈川県産業廃棄物処理実績調査記入要領

１．調査の概要

本調査は、県内の産業廃棄物処分業者における産業廃棄物の処理状況を調査し、資源循環及び適正処理の推進に向けた施策立案及び進捗管理に活用することを目的として実施しています。

２．調査の単位

複数の事業所を有する事業者にあっては事業所単位で回答を作成してください。
（シートの複製は、回答者で行ってくださるようお願いいたします。）
※横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市内の事業所も調査対象になります。

３．集計対象期間

令和６年４月１日～令和７年３月 31 日

４．記入方法（調査票の末尾に記載例を添付していますのでそちらもご覧ください。）

（１）調査票（その１）〔受入実績〕

廃棄物の種類別の受入量を受入元の都道府県（県内は政令市についても区分）別に記入してください。（移動式設備の場合は、県内で処理した場合のみ御記入ください。）

①廃棄物の名称 及び分類番号◇	集計対象期間中に受け入れた廃棄物の種類及び分類番号を調査票に記載の廃棄物分類表から選んで記入してください。 エクセルで入力する場合、分類番号は自動入力されます。
②廃棄物の発生場所 及び分類番号◇	①で選んだ廃棄物の発生場所及び分類番号を調査票に記載の発生場所分類表から選んで記入してください。 エクセルで入力する場合、分類番号は自動入力されます。
③年間受託量	①で選んだ廃棄物を１年間に受託した量を記入してください。

◇エクセルで入力する場合はリストから選択するもの。

（２）調査票（その２）〔処理実績〕

受け入れた廃棄物の処理実績を記入してください。（移動式設備の場合は、県内で処理した場合のみ御記入ください。）

①廃棄物の名称 及び分類番号◇	集計対象期間中に処理をした廃棄物の名称及び分類番号を調査票に記載の廃棄物分類表から選んで記入してください。 エクセルで入力する場合、分類番号は自動入力されます。 また、上のセルの内容をそのまま引き継ぐ場合には「↑」を記入してください。

②処分方法	①で選択した廃棄物種の処分方法を調査票に記載の処分方法を参考に記入してください。 上のセルの内容をそのまま引き継ぐ場合には「↑」を記入してください。 注１）リストに掲載の処分方法は一例です。リストにない処分方法を記入しても構いません。 注２）複数工程を経る処理の場合には、代表的な処分方法のみを記しても構いません。
③年間処理量	①で選択した廃棄物を②の処分方法で処理をした量を受託元別（排出事業者（県内、県外）、処理業者（県内、県外））に記入してください。また、内数として熱回収量を記載してください。 なお、処理業者からの受託分とは二次マニフェストの交付を受けて、二次処理を委託された量です。
④中間処理後物の名称及び分類番号◇	①で選択した廃棄物を②の処分方法で処理をした後の中間処理後物の種類及び分類番号を調査票に記載の廃棄物分類表から選んで記入してください。 エクセルで入力する場合、分類番号は自動入力されます。
⑤中間処理後量	④で選択した中間処理後物の量を再生利用量、最終処分量、処理業者への中間処理（二次処理）委託量、その他量に分けて記入してください。処理後に保管している量はその後の予定される処理の方法に応じて分類してください。 ・再生利用量 中間処理後物を自身で利用した量及び他人に有償で販売及び譲渡した量を記入してください。 ・最終処分量（埋立処分又は海洋投入処分量） 中間処理後物を自身で最終処分した量及び他人に最終処分を委託した量を記入してください。 ・中間処理（二次処理）委託量 中間処理後物を自身の他事業所で中間処理した量及び他人に中間処理を委託した量を記入してください。その際、処理先が県内の場合と県外の場合に区分して記入してください。 ・その他量 上記に分類されない量を記入してください。 注１）処理に伴って生じる廃棄物のうち、中間処理業者が排出事業者としてマニフェストを交付して処理を委託した廃棄物は中間処理後物に含めないでください（記載不要)。具体的には焼却処分に伴って発生する汚泥、ばいじんなど副次的に発生する廃棄物です。 注２）中間処理後物が有価物であって、廃棄物以外の原料を投入している場合は、投入した原料分の重量は中間処理後物の重量に含めないでください。 注３）複数の廃棄物種から単一の処理後物ができるような処理の場合には、按分した量を記入してください。

◇エクセルで入力する場合はリストから選択するもの。